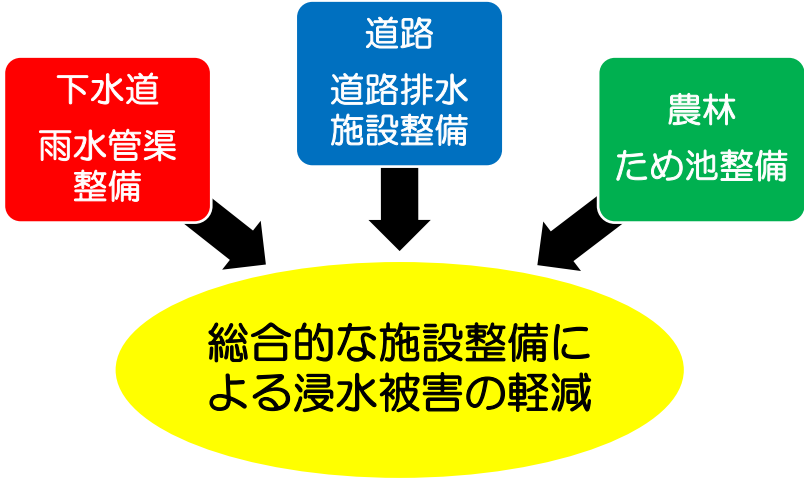


由良川水系流域治水プロジェクト＜個別事例＞

R6.5版

● 平成26年8月豪雨を始めとする集中豪雨などにより、浸水被害の発生した福知山市下六人部地区において、浸水被害の軽減を図るため、道路排水施設、農業用施設及び下水道施設の総合的な整備を実施します。

対策の概要



道路排水施設の改良

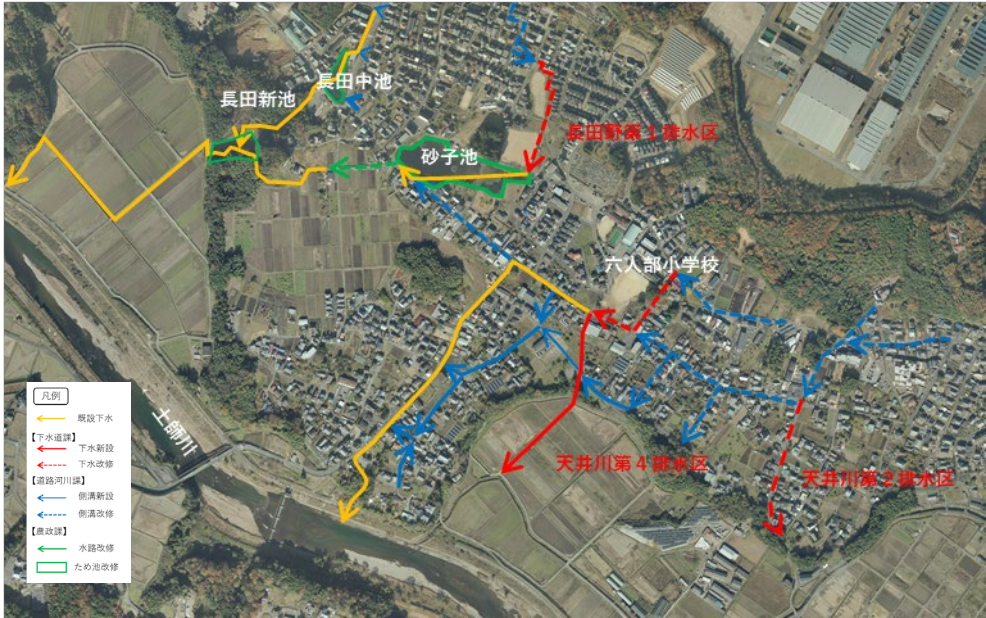


下水道雨水排水路の新設・改良



ため池の堤体補強

事業箇所図



事業の経過

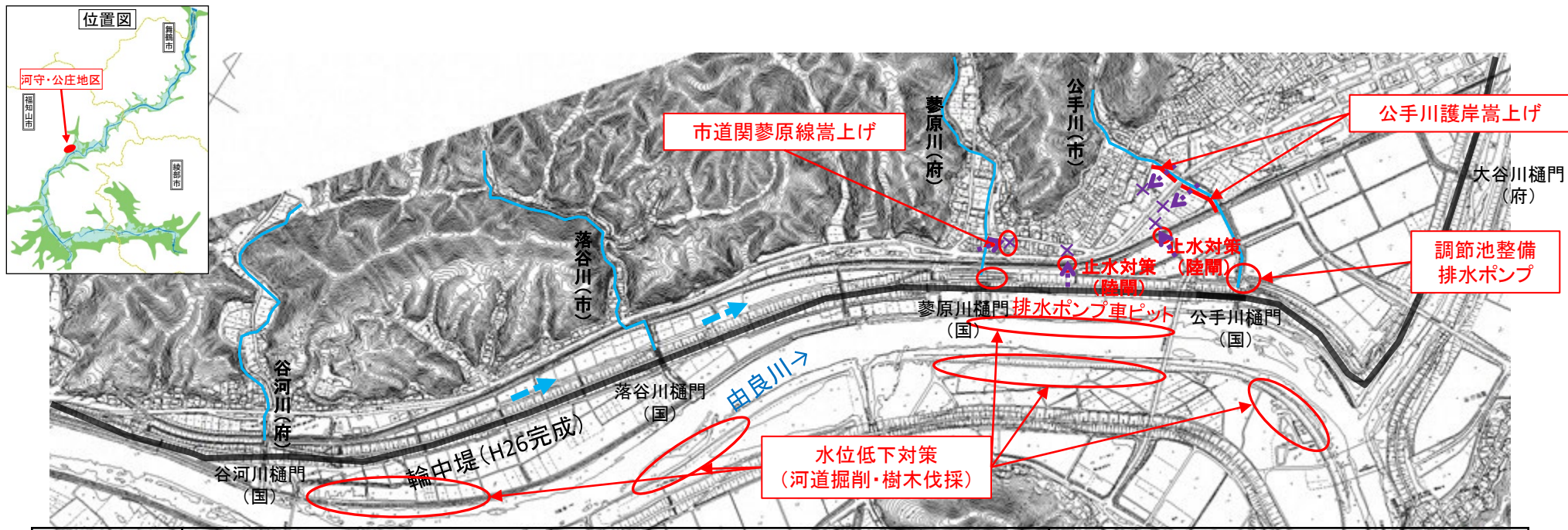
- 令和3年
シミュレーションによる対策施設の検討
- ↓
- 令和4年
対策施設の詳細設計等の実施
- ↓
- 令和5年以降
対策工事の実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策事例

<内水被害軽減対策>

福知山市、京都府、福知山河川国道事務所

- 京都府、福知山市では、平成29年台風21号及び平成30年7月豪雨により甚大な内水被害を受けた大江町河守～公庄地区をモデル地区として、排水ポンプ整備や支川改修等の内水被害軽減対策を実施しています。
- また、福知山河川国道事務所は、由良川本川の河道掘削や樹木伐採を行うことで、本川の水位を低下させ、内水対策に寄与する整備を府・市と連携しながら実施しています。



役割分担	主な浸水被害軽減の連携メニュー[短期対策 *1]		対策効果
国交省	由良川本川河道掘削、樹木伐採 流域内水対策への財政支援	排水ポンプ車の活用やソフト対策の組み合わせにより、更なる減災対策に取り組む	平成29年台風21号出水規模の床上浸水が解消 平成29年台風21号浸水被害戸数 床上戸数 17戸 床下戸数 18戸 *排水ポンプ車活用で、さらに効果向上
京都府	排水ポンプ車ピット整備 排水ポンプ整備への連携協力等		
福知山市	公手川改修・護岸嵩上げ、関連止水対策 調節池（約5千m ³ ）、排水ポンプ（約3m ³ /s） マイマップ、マイタイムラインでの避難 等		

*1 短期対策として平成29年台風21号相当規模の雨を対象に、床上浸水解消を目標とする。

- 森林環境譲与税は、「森林の整備に関する施策」、「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策」に要する費用に充てなければならないとされている。（森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第1項）
- 福知山市は、約42,000haの森林を有し、うち約48%（約20,000ha）がスギ・ヒノキ等の人工林で、その多くが標準伐期齢を過ぎている状況となっている。
- また、本市では、近年水害が頻繁に発生し、治水対策の観点から森林整備を進めていく必要がある。
- 以上から、森林環境譲与税は新たな森林経営管理制度の推進に係る事業を中心に充当する。

福知山市基礎データ

● 民有林人工林面積：19,953ha

● 林野率：76.1%

● 林業就業者数：60人

令和4年度森林環境譲与税：94,848千円（決算額）

令和5年度森林環境譲与税：94,845千円（予算額）

令和4年度森林経営管理事業

- 河守・河西地区において、森林境界明確化を実施
- 次年度以降の意向調査対象森林における航空レーザ測量によるデータ取得

【事業費】101,701千円（うち譲与税101,701千円）

【実績】

- ・境界明確化業務面積：1,358ha
- ・航空レーザ測量面積：9,339ha
- ・森林資源解析面積：6,235ha

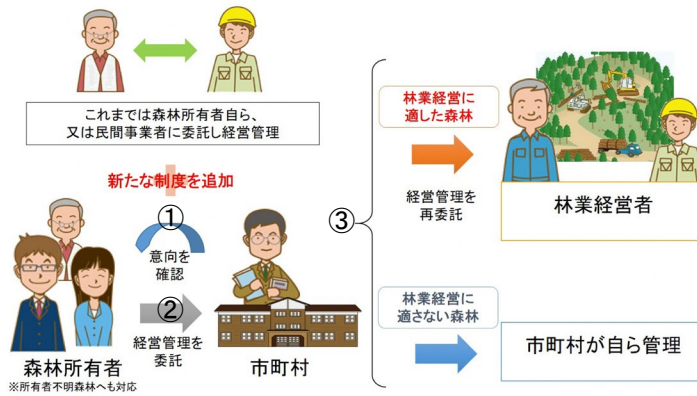
令和5年度森林経営管理事業

- 平野・板生・二箇地区において、森林境界明確化を実施
- 境界明確化完了箇所の意向調査を実施

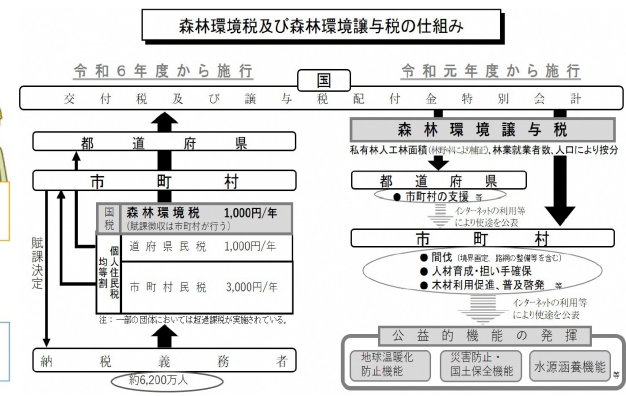
【予算額】68,229千円（うち譲与税68,229千円）

【予定量】・境界明確化業務面積：2,232ha

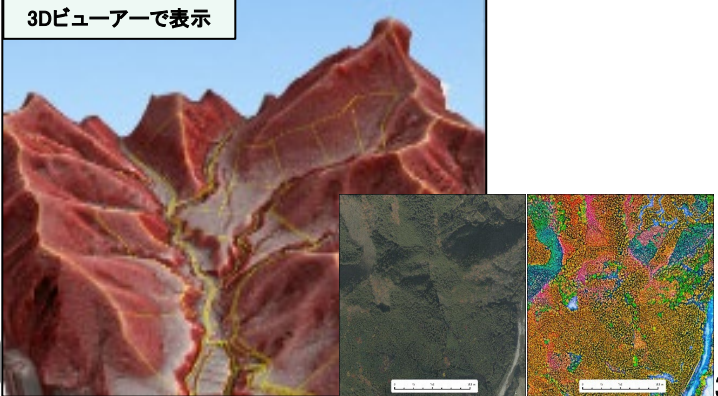
森林経営管理制度



森林環境譲与税の仕組み



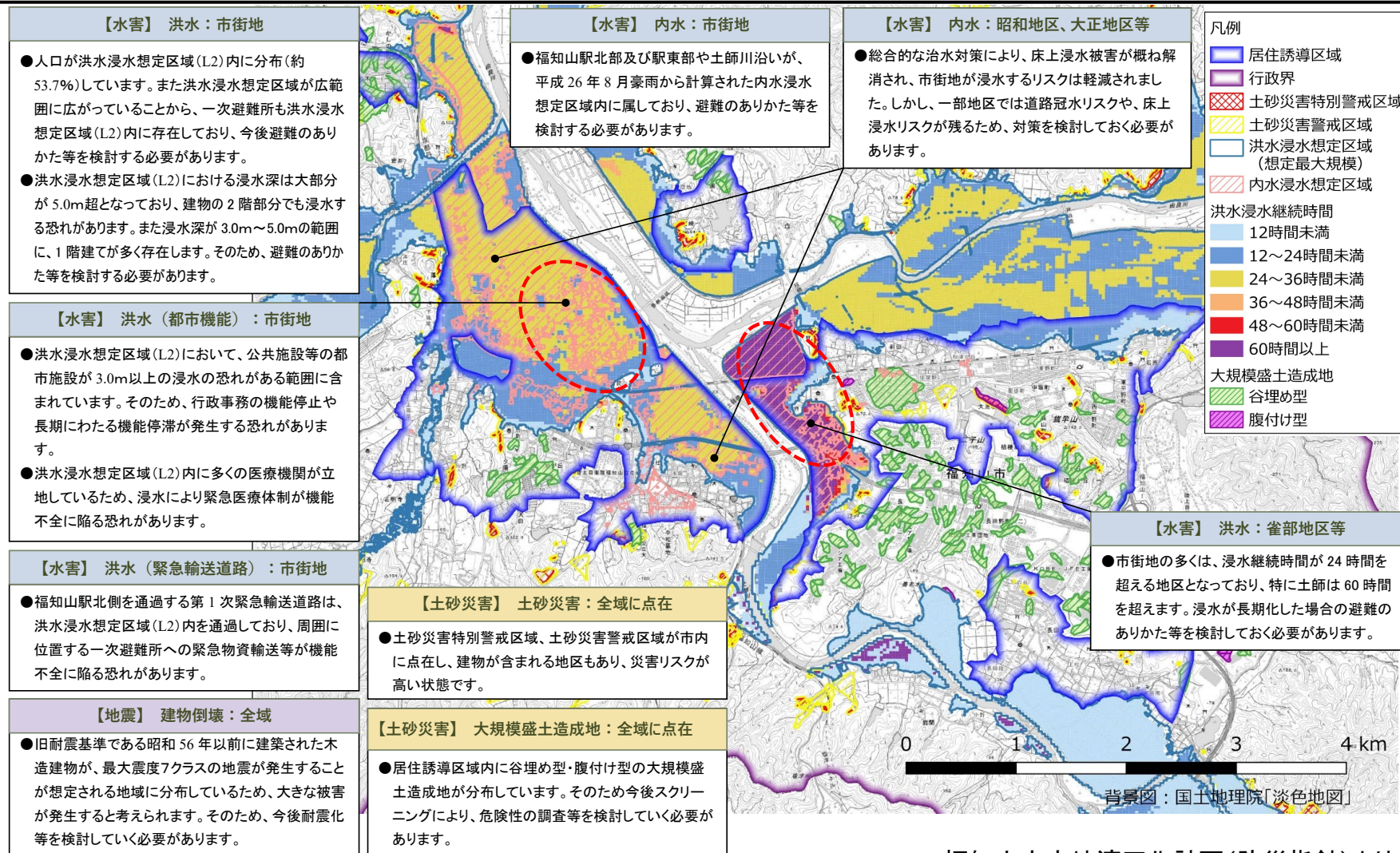
森林航空レーザ計測・解析



被害対象を減少させるための対策 <防災指針を盛り込んだ立地適正化計画の作成>

福知山市

- 「防災コンパクト先行モデル都市」として国の支援を受けて立地適正化計画を作成(令和4年4月公表)
- 防災・減災の観点を取り入れたコンパクトな都市づくりを推進



福知山市立地適正化計画(防災指針)より

集約都市形成支援事業費補助金(都市局所管)

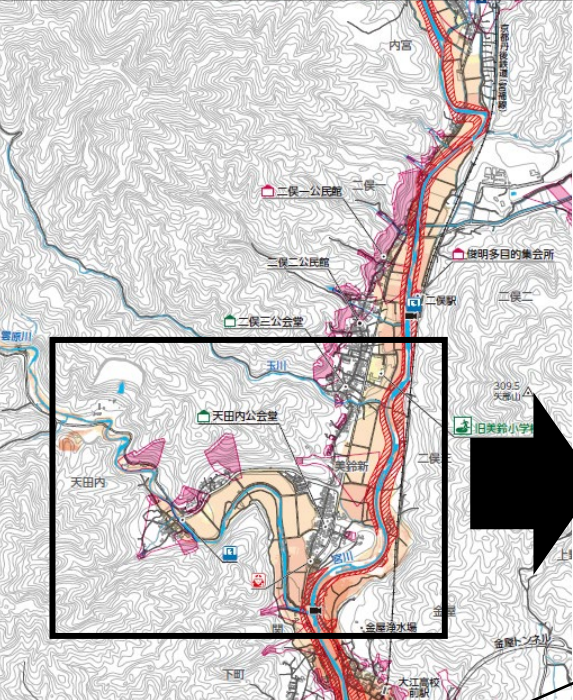
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

<自治会ごとの地域版防災マップの作成>

福知山市

- 市全域の災害リスク等を周知する総合防災ハザードマップとは別に、自治会単位の詳細な情報を網羅し、自治会独自が定めた避難場所や避難のタイミングを記載した地域版防災マップ(マイマップ)の作成を推進。
- 平成27年度から取組みを始め、令和5年度末で253の自治会で作成が完了(約78%)、災害時の実際の活動や訓練等に活用いただいている。

福知山市総合防災ハザードマップ



地域住民が知る、市のハザードマップに掲載のない危険場所や現象

地域独自の避難のタイミングや決め事など

地域版防災マップ

2023年8月作成

凡例

土砂災害発生が想定される区域

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

雲原川・宮川の浸水が想定される区域

雲原川・宮川が、想定最大規模の降雨(宮川流域全体の1時間総雨量58.6ミリ)により浸水した場合に想定される浸水深度です。

浸水深度

3階でも浸水が発生する程度

2階が浸水する程度

1階が浸水する程度

おとなのひざまでつかる程度

家屋倒壊危険想定区域

洪水時の河岸浸食により、家屋倒壊のおそれがある区域

避難のタイミング

早期避難

3

高齢者等避難

サイレンの発令(すいめい)

10秒(15秒休止)の繰り返し

避難指示

サイレンの発令(すいめい)

10秒(5秒休止)の繰り返し

または 市から「地域の危険情報」が配信されたとき

緊急時避難

4

緊急安全確保

サイレンの発令(すいめい)

1分(5秒休止)の繰り返し

取るべき行動

災害のおそれあり

明るいうちに避難行動

危険な場所から避難

既に道路冠水や土砂災害発生などで、かえって避難することが危険な場合は、無理に外に出ず、屋内で安全な2階や山と反対側へ移動。

災害のおそれ高い

無理に外に出ない。

※既に安全な避難ができず、危険な状態。

災害発生又は切迫

無条件に避難行動

避難場所

旧美鈴小学校

天田内公会堂

または

自宅の2階や山とは反対側の部屋

自宅の2階や山とは反対側の部屋

土砂災害の前兆現象

斜面から水がしみ出す

小石がバラバラと落ちてくる

山崩れがする

雨が続くと、川の水位が上がる

川の水色が変わる

土砂が川に流れ込む

土砂が川に流れ込む

土砂が川に流れ込む

「避難」とは、「難」を「避」けること。

避難所以外にも行ける安全な場所を見つけておいてください。

安全な親戚・知人宅へ行く

マイカーで安全な場所に行く

避難所へ行く

天田内自治会の災害リスクは、「土砂災害」と「雲原川・宮川による浸水」

過去に天田内付近の土砂災害が発生した雨量に、2時間後に達する予測があるときは、福知山市防災アプリ「地域の危険情報」で天田内自治会向けに防災情報が通知されます。

極めて危険な状況ですのですぐに避難してください。

※避難指示等が発令される前に、配信される場合があります。

「福知山市防災」アプリのインストール

市からの防災放送の確認もできます

天田内自治会の決め事

避難指示発令で天田内公会堂へ避難開始

※自宅が危険な場所でない人は、無理に避難しない。

※避難が間に合わない場合は、自宅の2階や山とは反対側の部屋へ移動する。

帰宅困難の場合の避難先

車での避難など

イオン・ジュンテンドー・プラントの駐車場

電車の運休時など

市民交流プラザふくちや(福知山駅前)

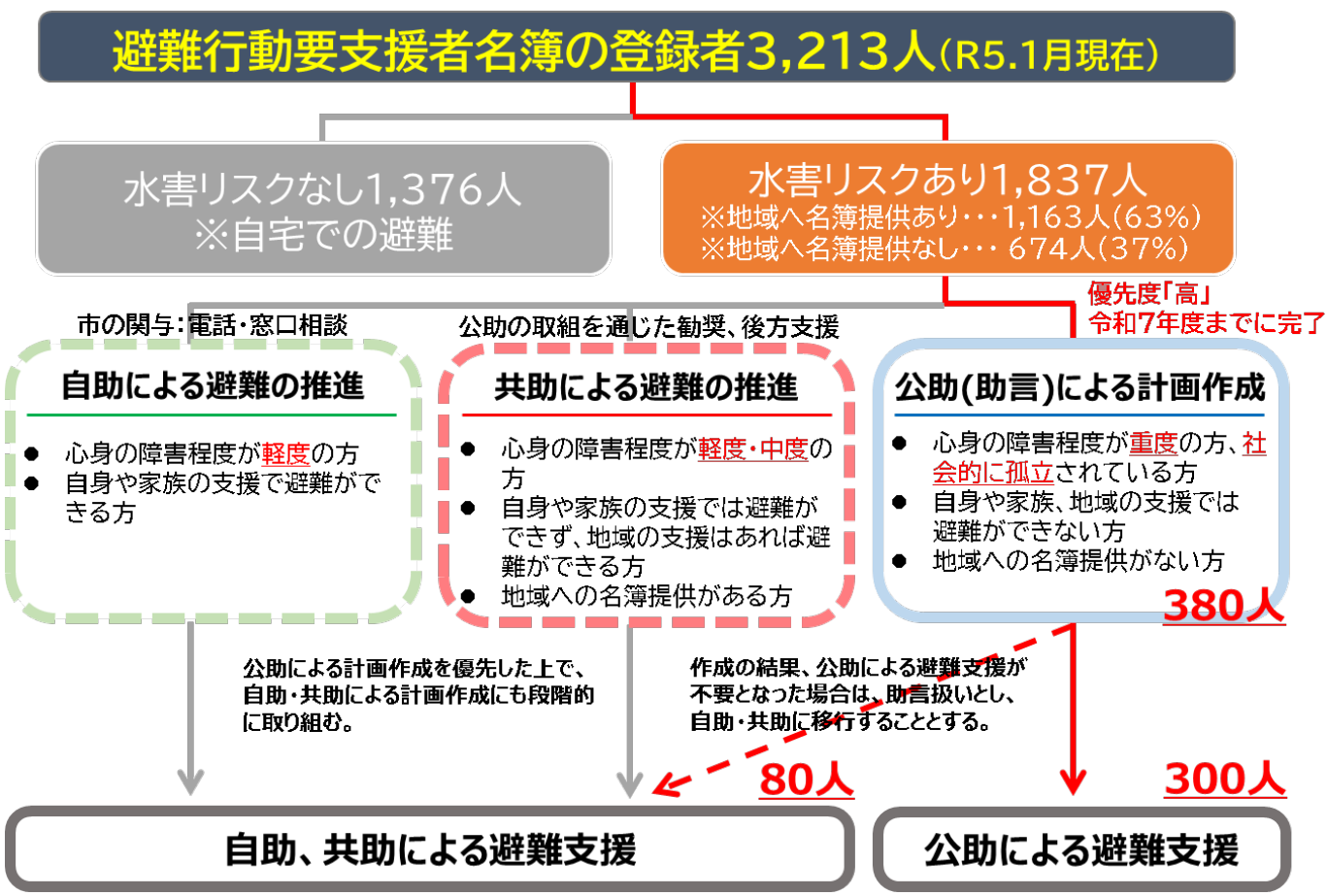
175号線通行止め目安(以下の全条件を目安に判断対応)

・由良川流域総雨量(または24時間)200mm以上の予測

・福知山水防警報[待機]

(由良川福知山水位4.0m、牧川水位1.9m)

- 災害対策基本法の改正(令和3年5月20日施行)により、高齢者や障がいのある人など自ら避難することが困難で、避難に支援を必要とされる要配慮者の個別避難計画の作成が市町村の努力義務となった。
- 本市では、災害リスクや心身の機能レベル等を考慮し、家族、地域の支援では避難が困難な要配慮者について、市とケアマネジャー等福祉専門職とが連携し、計画作成を行うこととしており、令和3、4年度はモデル的に実施し、令和5年度からは本格的に開始している。今後も、避難時の移送手段や避難先での支援体制の充実、システムを活用した迅速な避難体制を構築し、優先度の高い要配慮者の計画を令和7年度の完了を目指す。



要配慮者宅への個別訪問の様子



令和5年台風第7号での避難支援の様子

- 森林環境譲与税は、「森林の整備に関する施策」、「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策」に要する費用に充てなければならないとされている。（森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第1項）
- 舞鶴市は、約27,000haの森林を有し、うち約40%（約11,000ha）がスギ・ヒノキ等の人工林で、その多くが標準伐期齢を過ぎている状況である。
- また、本市では近年、由良川だけでなく、その他の河川の流域でも水害が頻発し、治水対策の観点から森林整備を進める必要がある。
- 以上から、森林環境譲与税は新たな森林経営管理制度の推進に係る事業を中心に充当する。

舞鶴市基礎データ ●私有人工林面積：7,015ha ●林野率：78.6% ●林業就業者数：25人

令和4年度森林環境譲与税：40,586千円（決算額）

令和4年度森林経営管理事業

●下記の基準に合致した、岡田由里・丸田西地区で森林航空レーザー測量データを基に森林境界の明確化に着手

実施要件

- ①林班*のおおむね50%以上が人工林であること
- ②施業が確認できない放置された森林であること
- ③対象林班のある地域が集約化を望んでいること

※林班とは…都道府県の森林計画図で設定されている尾根や谷などで区分される一定の森林の塊

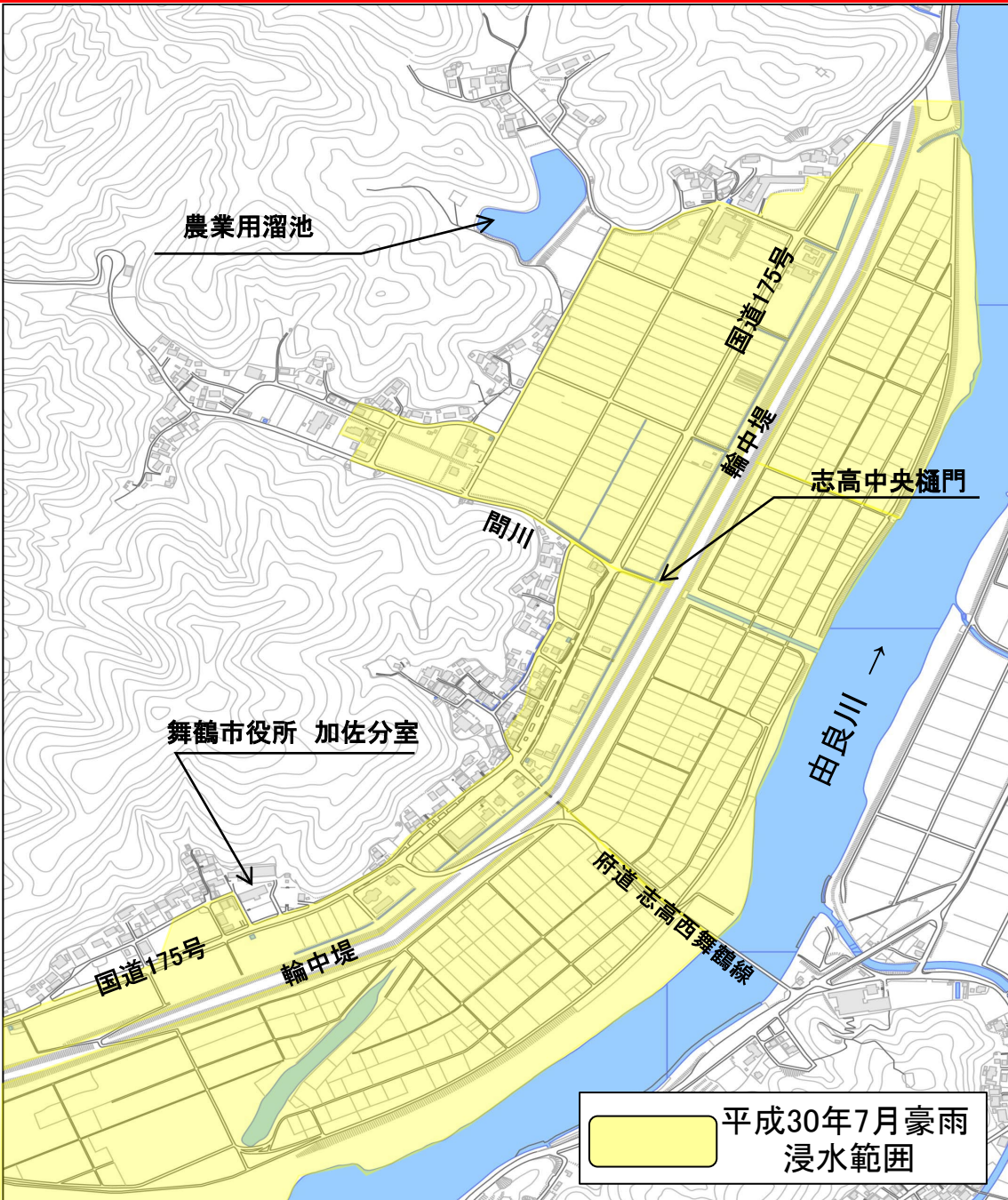
令和5年度森林環境譲与税：40,586千円（交付予定額）

令和5年度森林経営管理事業

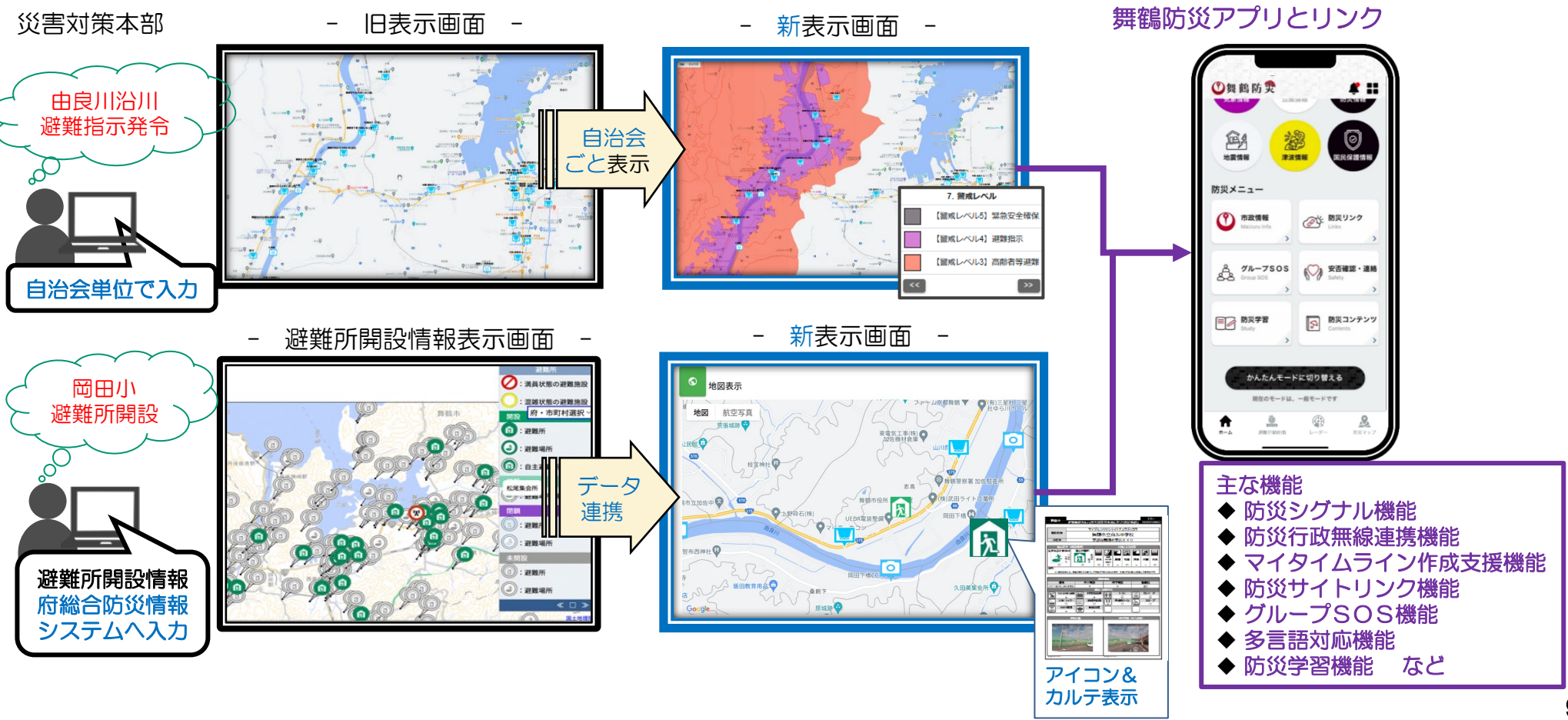
●前述の基準に合致する地区について森林航空レーザー測量の実施について協議を進め、実施する。

●令和4年度までに説明会等を実施した地区の森林所有者を対象とした境界の確認とその同意の取得を進めている。

- 輪中堤地区において外水から守られる対策が完了したが、内水による浸水被害が顕在化していることから、住民の生命財産を守るため、内水被害軽減対策を検討中。



- 「知る機会を増やす」「自分事と捉えることを促す」「行動を誘発する」を期して
- 令和5年6月 避難情報の発令地域を自治会単位で視覚的に表示
 - 同 9月 「京都府総合防災情報システム」とデータ連携し、避難所情報等をアイコン&カルテ表示
 - 令和6年3月 運用開始の「舞鶴防災アプリ」とリンク
- 今後、内閣府SIP「市町村災害対応統合システム（自治体の避難情報発令を支援するAIモデル）」と連携し、適切なタイミング、エリアごとの避難情報の発信を推進

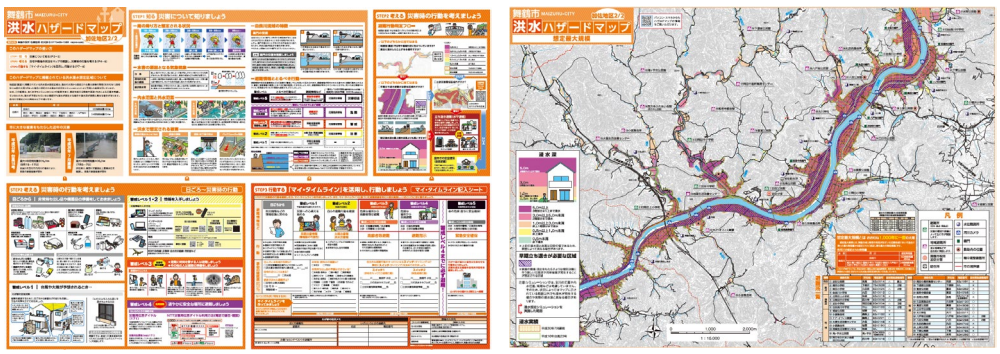


- 由良川沿川(加佐地区)自治会などへ、防災教育・啓発活動を推進し、地域防災力の向上をサポート
- 「自主防災組織の設立支援」、「ハザードマップ周知」、「地区タイムラインの作成支援」を三位一体で推進

- ◆ 自主防災組織の設立支援
 - ✓ 「自助」「共助」の啓発と設立方法の説明
(加佐地区 17/35自治会 R5年度末)



- ◆ ハザードマップ (R5年度版) 周知
 - ✓ ハザードマップ配布とタイムラインの意義解説
(加佐地区 35/35自治会 同)



- ◆ 地区タイムライン作成支援 (現状：啓発レベル)
 - ✓ タイムライン作成方法の説明
(加佐地区 21/35自治会 同)



- 指定避難場所等の周知を図り、災害時に避難者が確実に避難できるよう、避難所等に標識を設置。
- 付近幹線道路に、避難所等に誘導するための標識を設置。
- 標記は多言語とし、国際交流協会と調整して言語を決定。
- 令和5年度完了。

令和3年度～4年度完了



指定避難所等に、対象災害と避難場所としての機能を併記した標識を設置
◇令和3年度:52か所
◇令和4年度:51か所

令和5年度完了



指定避難所等の付近幹線道路に、
標識を設置
◇令和5年度67か所

- 宮津市は、市内の要配慮者利用施設（福祉、医療、学校施設等）に対して、避難確保計画の作成と避難訓練の実施について、取組み要請を行っています。

これまでの取組み状況

- R2.4 避難確保計画作成済み施設数… 3
 - ・R2.7 令和2年7月豪雨（特に熊本県球磨川流域で大規模な災害。高齢者福祉施設で多数の人的被害が発生。）
 - ・R2.8 市内全ての要配慮者利用施設に対し、避難確保計画作成の要請。
（国が示している計画作成手引きの紹介や、必要があれば個別説明や相談対応する旨を記載）
- R3.3 避難確保計画作成済み施設数… 16
 - ・R3.4 市内の計画未作成施設に対し、避難確保計画作成の要請。
 - ・R3.8 新たな洪水浸水想定公表による追加対象4施設に対し、避難確保計画作成の要請。
- R4.3 避難確保計画作成済み施設数… 30（※災害警戒区域内の入所型福祉施設は、すべて作成）
 - ・R4.4 市内の計画未作成施設に対し、避難確保計画作成の要請。
- R5.2 避難確保計画作成済み施設数… 37（※対象施設のすべて計画作成）
- R6.4～
 - ・避難確保計画に基づく避難訓練実施及び報告について、継続して要請を行う。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 <由良川水系流尾川通常砂防事業>

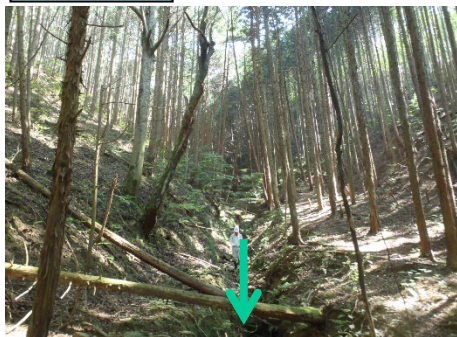
京都府

- 福知山市の南部に位置する当渓流域では、荒廃した山肌や立木の倒木が見られることから、異常出水による堆積土砂や倒木の流出を未然に防止するため、砂防施設の整備を行う。

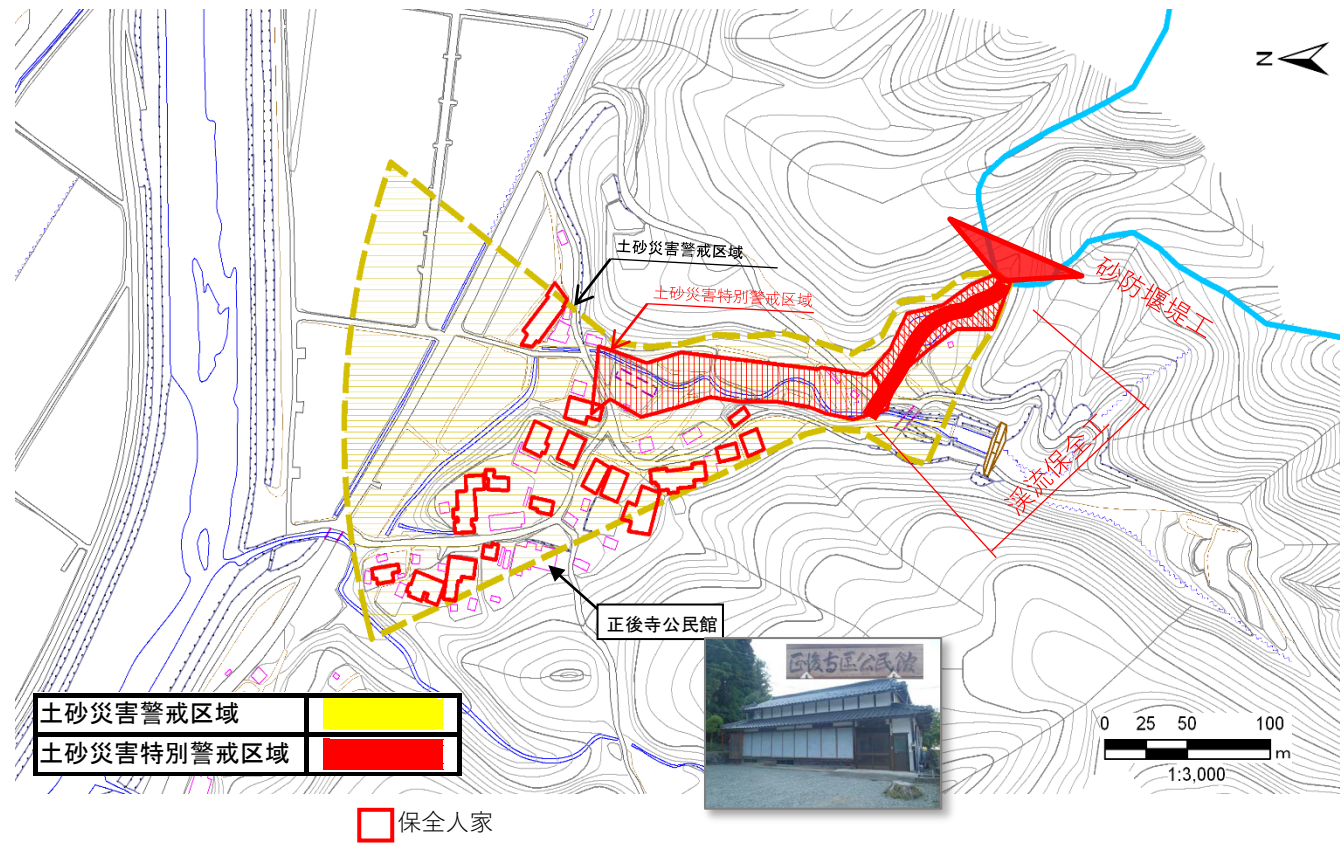
位置図



状況写真



保全対象



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 <由良川水系樋ノ口川通常砂防事業>

京都府

- 福知山市の北西に位置する当渓流域には、下流に児童福祉関係施設や地域医療施設、人家があり、今後の集中豪雨等において懸念される土石流等による被害から、これら保全対象を守るため、砂防施設の整備を行う。

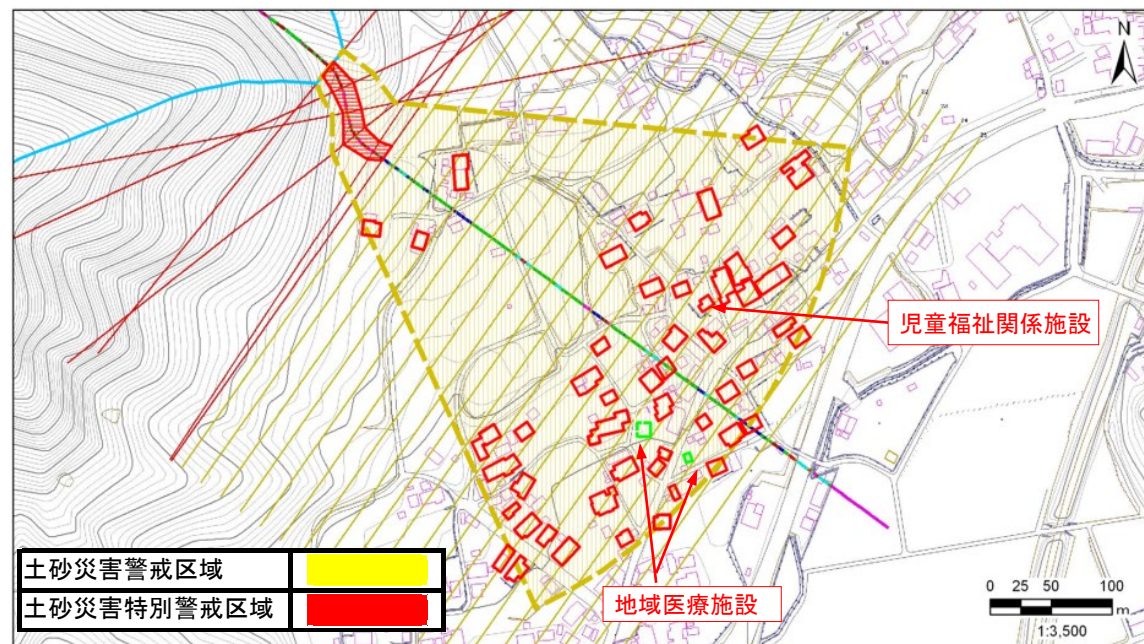
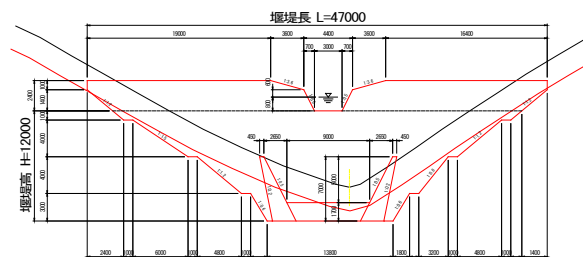
位置図



状況写真

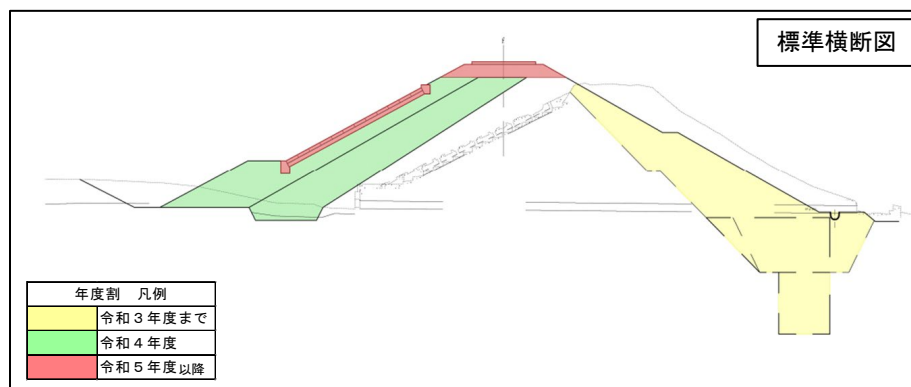
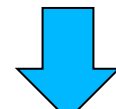
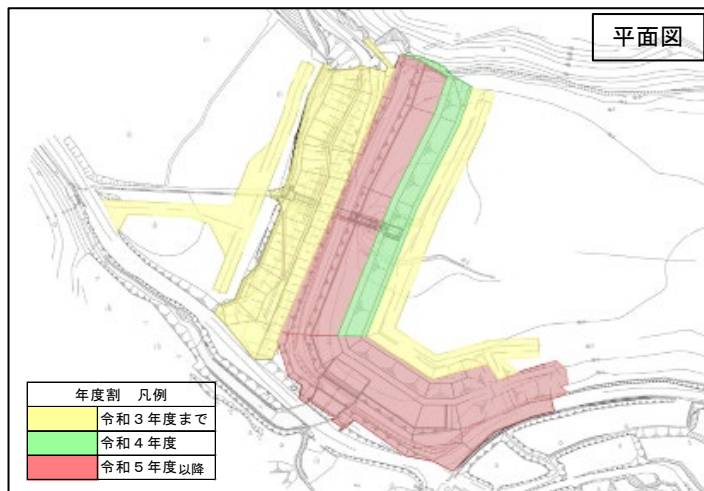


えん堤工正面図



□ 保全人家

- 小代呂池では、豪雨による堤体決壊を防止するための防災工事を実施しています。令和6年度出水期までに洪水吐の改修を完了させて、洪水に対する安全性の向上を図ります。
- 防災工事の竣工により、決壊等による被害リスクの低減や水災害等に対する多面的機能の発揮が期待されますので、上記の工事に加えて、引き続き、堤体の嵩上げ等の工事を推進していきます。



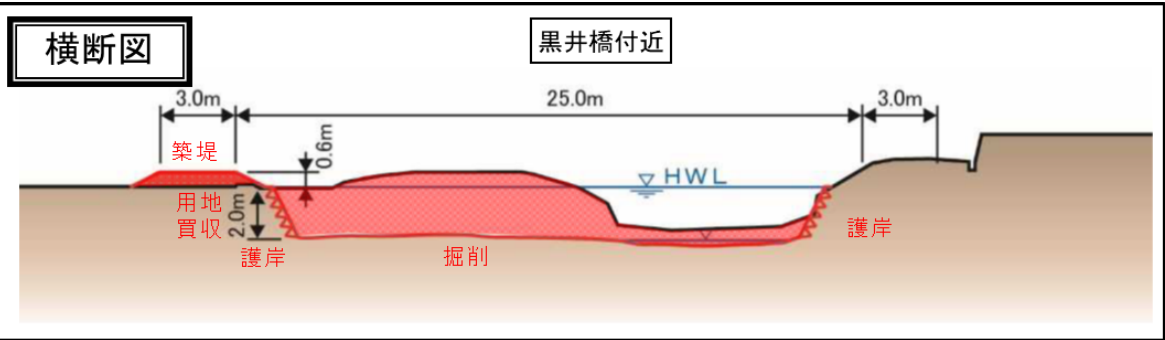
- 昭和58年台風第10号(戦後最大規模の広域的な被害をもたらした洪水)と同規模の洪水に対し、家屋への浸水を軽減する
- 下流より整備を進めており、令和5年度は藤林橋上流側の護岸工事及び取合道路工事を実施中(～R6.6.30)です。引き続き、上流側へ護岸整備を進めていきます。



施行中区間(藤林橋)



未改修区間(明德橋)



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策事例

<森林の整備及び保全(災害に強い森づくり)> 兵庫県

- 兵庫県では平成18年度から「県民緑税」(県民税均等割の超過課税)を導入し、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進めるために、「災害に強い森づくり」に取り組んでいる。
- 兵庫県全体で災害に強い森づくり事業として、41,898haを整備している。 (※令和4年度末時点)

(1) 緊急防災林整備

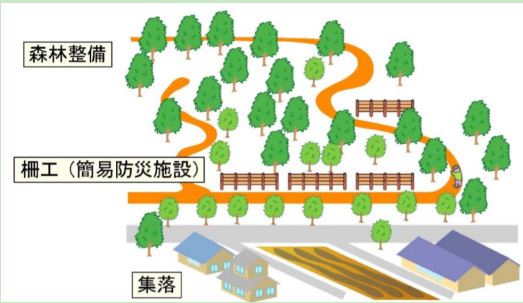
危険渓流域の森林において、防災機能を高める森林対策として、伐倒木を利用した土留工や簡易流木止め施設等を設置し、土砂流出及び流木・土石流対策を実施。



伐倒木を利用した土留工の設置例

(2) 里山防災林整備

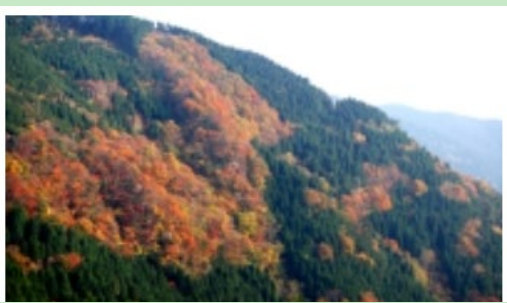
集落裏山にある倒木や崩壊の危険性の高い森林を対象に、山地災害防止機能を高めるため、危険木伐採などの森林整備や簡易防災施設を設置。



里山防災林整備 イメージ図

(3) 針葉樹林と広葉樹林の混交整備

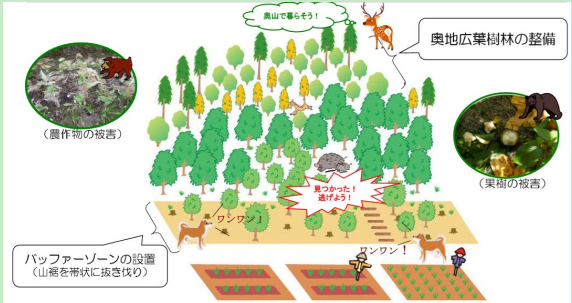
大面積に広がる手入れ不足の高齢人工林を部分伐採し、その伐採跡地に広葉樹を植栽し、風水害に強い森林へ誘導。



整備後の針広混交林 イメージ

(4) 野生動物共生林整備

野生動物による被害が深刻な地域の森林を対象にバッファゾーン(見通しの良い地帯)等を整備し、人と野生生物が棲み分けできる森林を育成。



バッファゾーン設置 イメージ図

(5) 住民参画型森林整備

地域住民やボランティア団体等による自発的な活動に対し、技術面や資機材等を支援し「参画と協働」による森林整備を推進。



ボランティアによる森林整備

(6) 都市山防災林森林整備

六甲山系において人命・下流の人家等に被害を及ぼす危険性が高い流域の森林を対象に、斜面崩壊防止力と土砂流出防止機能の向上を図る森林整備や土留工を設置。



過密林の伐採後に土留工を設置

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

<兵庫県CGハザードマップのリニューアル> 兵庫県

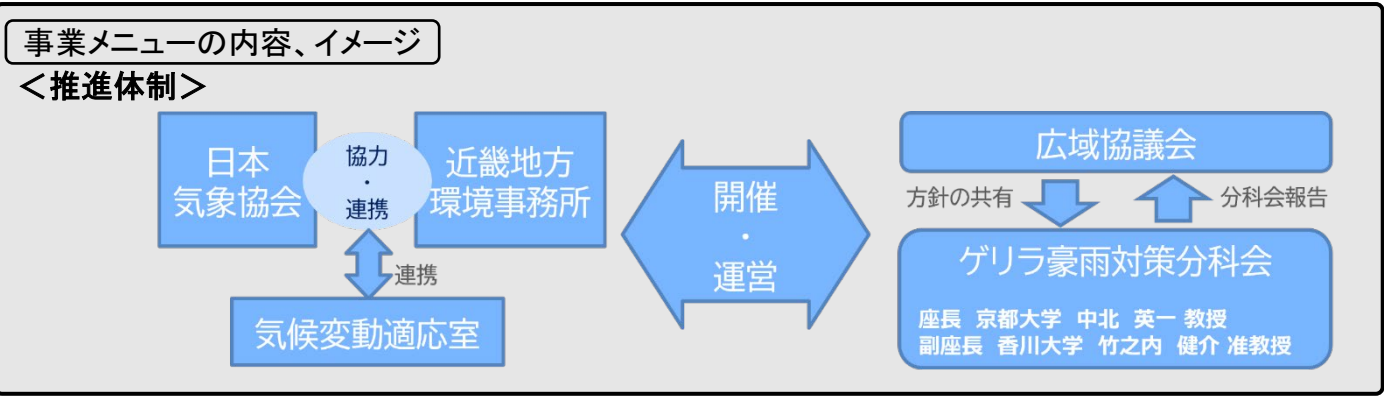
- 平成17年のオープンから約20年が経過し、利用者から閲覧情報が多く見にくいなどの意見を受け、リニューアルでレイアウトを刷新。
- 国のデジタルハザードマップを組込んだことや、過去の災害情報を災害別、地域別、年度別で選択できるよう改良

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 <気候変動適応地域づくり推進事業>

～「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策広域アクションプランに基づく対策の推進～

環境省近畿地方環境事務所

- 気候温暖化に伴う局地的豪雨の増加による影響を踏まえ、その(人的・物的)被害を軽減するために策定した広域アクションプランに基づく適応策の推進を図る。関係者が参加するFU*分科会を開催・運営する。
 - 滋賀県、京都府及び関係市町村、大阪府、和歌山県、京都市、大阪市、地域適応センター(兵庫県他)、等(環境部局に加え、一部の防災・危機管理系部局も参加。継続して参加募集中。)
- (※FU:フォローアップ)



事業メニューの実施事例

ゲリラ豪雨対策FU分科会の設置

テーマ：局地的大雨による市街地水災リスク増大への適応

気候変動の影響により、局地的豪雨の頻度、強度が増してきており、将来的にはさらに激甚化することが予想されています。また、局地的豪雨による災害の頻度・程度が増しています。近畿地域では、XRAINによる降雨の立体観測が高頻度で行われている優位性があります。

(令和5年度の事業活動内容)

- ・分科会：12月21日(木)、10時～
- ・意見交換会：2月27日(火)
- ・中学校における実証：7月～11月
対象：南宇治中学校、黄檗中学校
- ・都賀川水難事故に関する啓蒙活動の検討、等

事業メニューの効果

広域アクションプラン(R4年度策定)に含まれる適応アクション

広域連携での適切性、実行可能性・費用対効果の検証を踏まえ、広域アクションプランを策定

a.施設のゲリラ豪雨対策の実施状況の整理と対策推進
主なターゲット：中小規模施設の施設管理者、公園管理者等(野外施設の管理者も含む)
アクションプラン：既存施設等のゲリラ豪雨対策状況のとりまとめと情報共有。中小規模施設等におけるゲリラ豪雨対策の推進。

b.ゲリラ豪雨関連情報の有効活用検討
主なターゲット：地方公共団体(環境系部局、危機管理部局、防災系部局、道路系部)関係者、指定施設管理者、工事業者、教職員・生徒、一般住民
アクションプラン：豪雨関連情報のとりまとめ結果や利用方法に関するマニュアル作成と有効活用促進

c.ゲリラ豪雨対策に関する啓発・教育
主なターゲット：地方公共団体(環境系部局、危機管理部局)、地域気候変動適応センター、各府県地球温暖化防止活動推進センター、教職員・生徒、一般市民
アクションプラン：学校教育現場における啓発授業の実施や、啓発パンフレットの作成・配布



【令和6年度予算（案） 700百万円（732百万円）】

気候変動影響への適応取組を強化し、安全・安心で持続可能な社会の構築を目指します。

1. 事業目的

- ① 気候変動適応法・適応計画を効果的・効率的に実行する。
- ② 地域における適応を推進する。
- ③ 気候変動に脆弱な開発途上国において、能力強化や官民連携を通じて国際協力を推進する。
- ④ 気候変動を踏まえて将来の台風に係る影響評価を実施し、激甚化する気象災害への対策の充実を図る。
- ⑤ 民間企業における適応を促進する。
- ⑥ ロス&ダメージ対策に係る国際貢献方策等の検討により効果的・効率的な国際協力の推進を図る。
- ⑦ 1.5℃上昇の世界を見据え気候変動の影響評価と適応策の検討を進めることにより、効果的・効率的な適応策の推進を図る。
- ⑧ 気候変動に関する国民の理解を促進する。

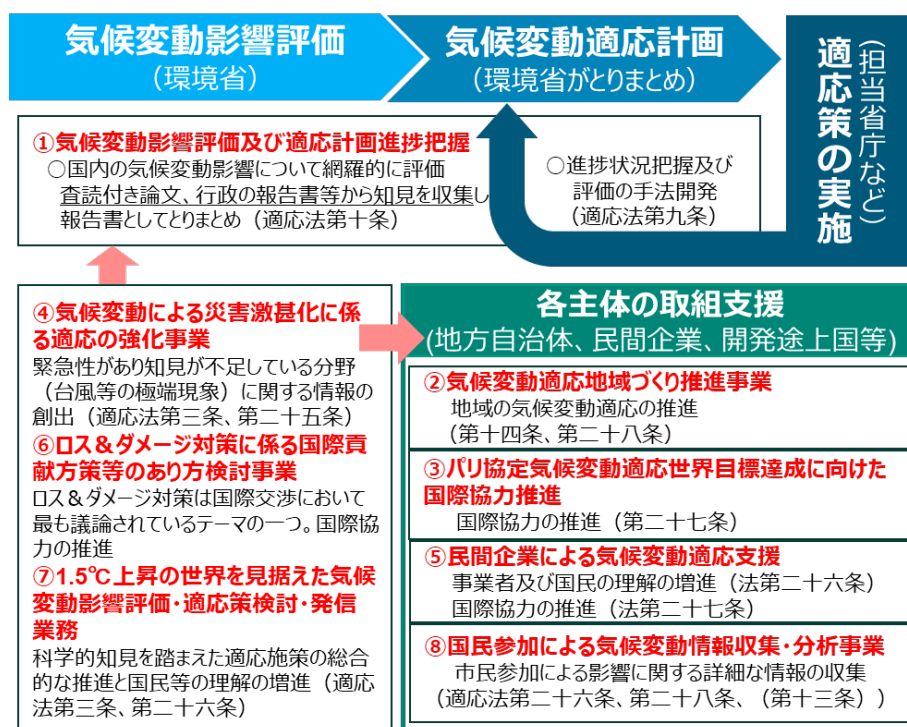
2. 事業内容

- 気候変動の影響は国内外で既に現れており、さらに深刻化する可能性がある。そのためパリ協定により、各国とも適応の取組が求められている。
- 平成30年6月に気候変動適応法が成立し、適応策の推進は、骨太の方針、クリーンエネルギー戦略等にも盛り込まれている政府の重要課題である。
- 環境省の適応策に関する中核的取組として、以下の事業を実施する。
 - ・気候変動影響評価及び適応計画進捗把握
 - ・気候変動適応地域づくり推進事業
 - ・パリ協定気候変動適応世界目標達成に向けた国際協力推進
 - ・気候変動による災害激甚化に係る適応の強化事業
 - ・民間企業による気候変動適応支援
 - ・ロス&ダメージ対策に係る国際貢献方策等のあり方検討事業
 - ・1.5℃上昇の世界を見据えた気候変動影響評価・適応策検討・発信業務
 - ・国民参加による気候変動情報収集・分析事業

3. 事業スキーム

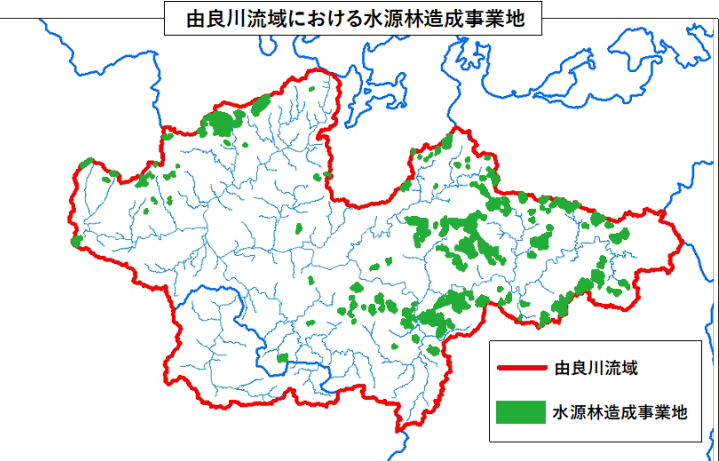
- 事業形態 請負事業、委託事業
- 請負委託先 民間事業者・団体、地方公共団体 等
- 実施期間 平成18年度～

4. 事業イメージ



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策事例
 <水源林造成事業による森林の整備・保全>
 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター

- 由良川流域における水源林造成事業地は、約250箇所（森林面積 約6, 500ha）であり、水源林造成事業の実施主体となる造林者（地域の森林組合や林業事業体等）と共に、更なる森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、令和5年度においては、約250haの森林整備を実施（中）、間伐事業においては流木災害防止の観点から間伐材等を林外へ積極的に搬出、販売し有効利用を図っています。
- また、水源かん養や土砂の流出防止など森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため、新植時の針広混交林への造成また群状又は帯状の育成複層林誘導伐の実施により、複数の樹冠層を有する育成複層林の造成を積極的に推進しています。



針広混交林（京丹波町）



育成複層林（南丹市）

由良川流域内における水源林造成事業地の森林整備状況

（令和6年3月11日現在）

施業 市町村名	新植	保育事業	保育事業のうち間伐事業
福知山市	3	57	23
舞鶴市			
綾部市	4	47	9
南丹市	16	100	26
京丹波町	3	47	14
計	19	251	63



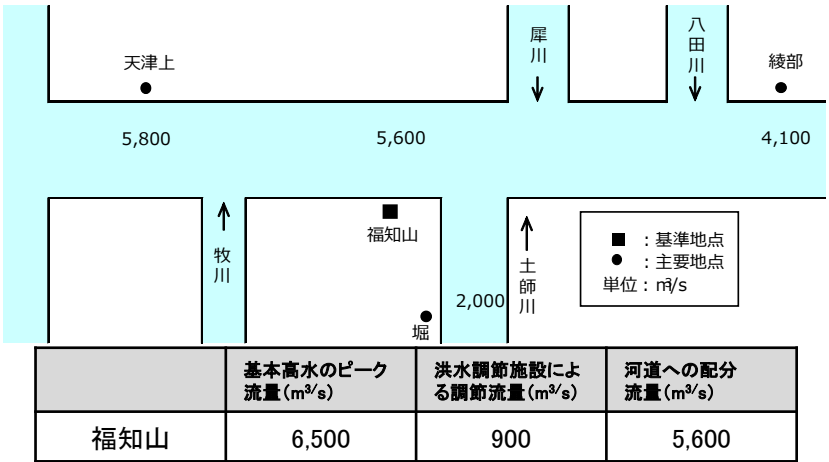
被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

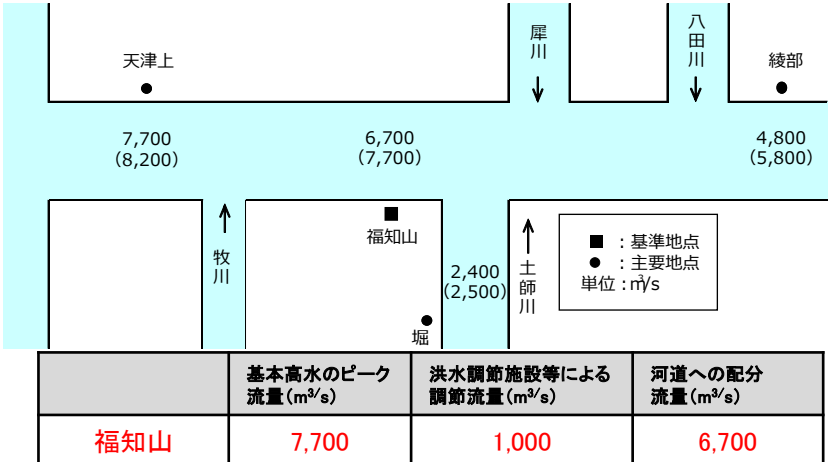
- 由良川では、気候変動による降雨量の増加等を考慮した治水計画として、由良川水系河川整備基本方針を令和5年8月30日に変更。
- 基本高水のピーク流量を6,500m³/sから7,700m³/sに変更し、そのうち、洪水調節施設等による調節流量を1,000m³/s、河道への配分流量を6,700m³/sとした。

由良川計画高水流量図

【旧基本方針】



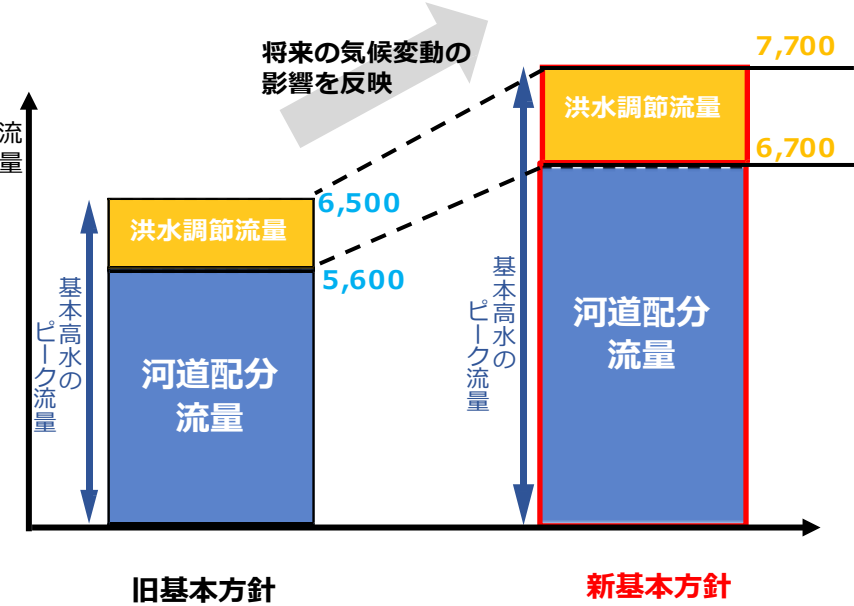
【新基本方針】



河道と洪水調節施設等の配分流量

洪水調節施設等による調節流量については、流域の土地利用や雨水の貯留保水遊水機能の今後の具体的取り組み状況を踏まえ、基準地点のみならず流域全体の治水安全度向上のため、具体的な施設計画等を今後検討していく。

基準地点：福知山



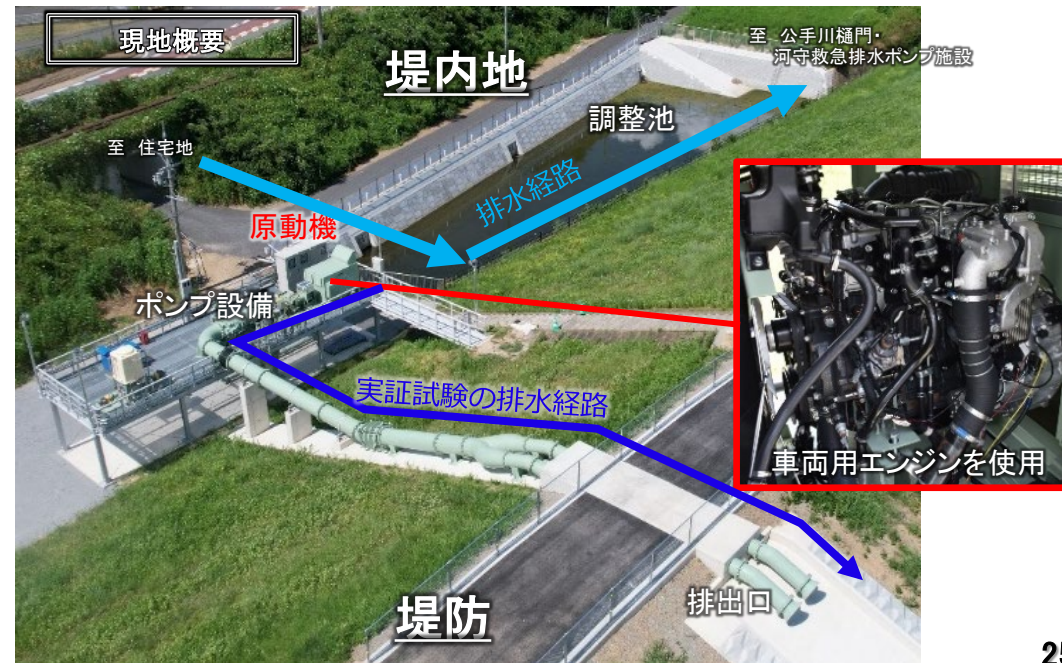
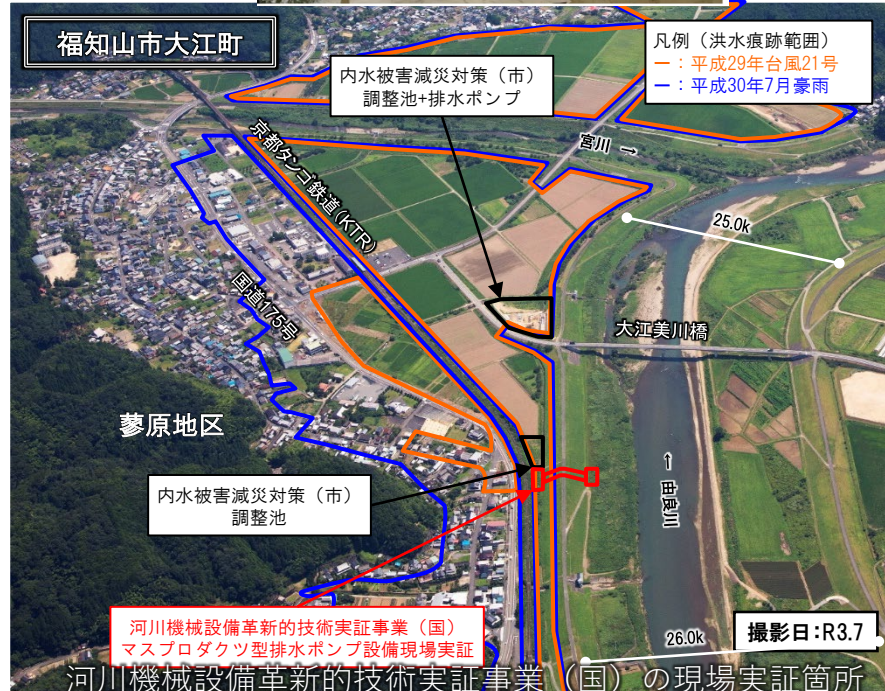
- 福知山河川国道事務所では、河川整備計画(H25.6)の残りの整備メニューのうち、無堤部への堤防整備を推進。
- 由良川の河口付近に位置する宮津市由良地区の堤防整備について、令和4年度に工事着手し、令和5年度は引き続き工事を推進しました。



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策事例<内水対策：福知山市大江町蓼原地区>

福知山河川国道事務所・福知山市

- 福知山河川国道事務所では、福知山市と協力し、自動車業界とポンプ業界の異業種連携により、量産品の車両用エンジン等を採用することで、経済性、操作性、維持管理性に優れた「マスプロダクツ型排水ポンプ設備」の社会実装に向け、蓼原地区にて現場実証試験を実施。
- 令和5年8月には、「マスプロダクツ型排水ポンプ設備」の設置が完了し、実証試験開始式を開催。令和6年度は引き続き、ポンプ設備の耐久性、操作性、現場適用性、維持管理性などの検証を行う。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策事例

<防災マップ・タイムライン作成ワークショップ・出前講座の実施>

福知山河川国道事務所

- 綾部市青野町の自治会にて、水害や土砂災害に備えて、自ら考え命を守る避難行動のための一助とした「マイ防災マップの作成」、住民全員が安全に避難出来る地域となるよう、いつ・誰が・何をするのかを時系列で示す「コミュニティタイムラインの作成」ワークショップを実施。
- 由良川沿川の小・中学校や自治会にて、防災意識の啓発を図るため、過去の災害の歴史と治水対策等に関する出前講座を実施。
- 以上の取り組みを通じて、台風や大雨等の災害に対して命を守るための自助(自分の身は自分で守る)と共助(住民同士の助け合い)の重要性を知り、命を守る備えと行動を自ら考える取組みを推進。

マイ防災マップ・コミュニティタイムライン作成ワークショップ

日時	参加者		
令和 5年12月 3日	綾部市	青野町地区	約60名
令和 6年 1月21日	綾部市	青野町地区	約60名



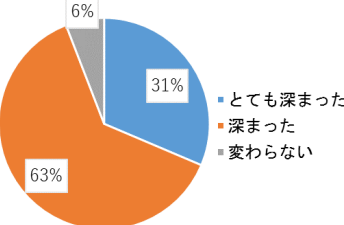
第2回ワークショップ
避難先についての話し合いの様子



綾部市 青野町マイ防災マップ

マイ防災マップの作成

避難行動に関する理解の深まり



■とても深まった
■深まった
■変わらない

【参加者の意見】

- 青野町に5年以上住んでいるが、知らないことも多く勉強になった。
- 役員の人と住民の温度差、認識の違いがある。「危険だよ」「皆で助かろう」という意識の共有ができればいいなと思った。
- 今回のコミュニティタイムラインのように日ごろから**早め早めの行動**を考えておくことは大切だと思う。

出前講座

日時	参加者		
令和 5年 5月29日	福知山市立	桃映中学校	約160名
令和 5年10月26日	綾部市立	綾部小学校	約80名
令和 5年10月27日 令和 5年11月 1日	綾部市立	物部小学校	9名
令和 5年11月 6日	綾部市立	豊里小学校	36名
令和 5年11月17日	福知山市立	南陵中学校	約180名
令和 5年10月 9日	福知山市	川北地区 自治会	約60名
令和 5年11月24日	福知山市立	上豊富小学校	8名



想定最大規模洪水の説明



ダンボールベッドの組立て(綾部市と合同で実施)



治水対策の説明



由良川防災ステーションの紹介